

# はじめに

昨年の4月に始動した第2期のテーマ『草津市の魅力を引出すためのしかけづくり』は、新たに高校生の募集をし、これまでのメンバーと一緒に「知識の習得とフィールドワークを通じた実践活動」を行ってきました。第4講座は開催が4月になったことから、世代間交流から高齢者の視線に目を移して、「草津市南部の未来の生活空間」と「次世代を担う人材」を研究課題としました。

## 学びの視点

### 1. 草津市における学術・文化連携拠点のアクションプログラム

滋賀県(草津市)の南の玄関口構想と地域の将来ビジョンを知る

- ・ 草津 PA を起点とする交通結節点と地域振興の拠点施設
- ・ びわこ文化公園都市が持つ機能と期待する役割
- ・ 福祉ゾーン内の施設が求める広域的な連携

### 2. Z世代のキャンパスライフ

学生の学習の取り組みや余暇の過ごし方を理解し新たな感性を養う

- ・ 学びのスタイルや交友や地域活動への参加意欲
- ・ 余暇の過ごし方や金銭的な自立/依存

## 学習プログラム

9:00～ オリエンテーション

9:15～10:00 市政情報学習 学術・広域連携拠点のアクションプラン

草津市都市計画部 部長 一浦 辰己 氏

10:15～11:00 事業所訪問 工場進出の経緯と事業所の特色等

社会福祉法人 メイプル滋賀工場 代表 菅野 禎彦 氏

11:00～11:15 (車で探索) 学術・文化交流拠点

メイプル滋賀工場⇒ダイハツアリーナ⇒草津 PA⇒ 立命館大学BKC

11:20～11:50 立命館大学 BKC の訪問

創造を育む2つのスポット 木瓜原遺跡と図書館の見学

案内 立命館大学 BKC 地域連携課 課長補佐 梅村 亮介 氏

12:00～13:00 懇談会 「Z世代のキャンパスライフ」

コーディネーター 金沢工業大学 講師 藤井 健史 氏

## 綱 領

私たち、塾生は、自己のポテンシャルの高揚と社会貢献に尽くすことを旨とし

1. 学びを通して、能力や適応力を高め、自分自身の将来性を拓げる努力をいたします。
1. 学びを通して、仲間の絆を深め、何かのために・誰かのためにできることを見つけます。
1. 学びを通して、情報を共有し、地域社会の将来に貢献できる力を養ってまいります。

## オリエンテーション



【川瀬】 おはようございます。綱領の唱和から始めます。

(全員 唱和)

これまでは、大学生・高校生とのコラボという形で進めてきましたが  
今回は同年代の集まりです。

顔ぶれのなかには、普段、なかなか  
出会えなかったり懐かしい方が参加を  
してくださっています。

出会いに感謝いたします。

今日の天候は不安定と予測されて  
いますが、計画をしたプログラムが

(信条のとおり) “うまくいっても いかなくても それはそれで楽しい”

一日となりますようご協力をお願いします。

### 信条「出会いと仲間のシナリオづくり」

1. “人と人との出会い”は、多くの話題が運ばれてきます。  
世代間交流は、新鮮な未来の姿を映し出してくれます。
2. “仲間づくりのシナリオ”は、知識や情報の共有と共感する  
気持から生まれてきます。
3. “うまくいっても いかなくても それはそれで楽しい”が、  
当塾の信条(自らを勇気づける応援メッセージ)です。

本日の学習をサポートしてくださる方々を紹介いたします。

開塾当初から専任講師をお願いしており、昨年、立命館大学BKCから  
金沢工業大学に移籍された 講師の 藤井 健史様です。

(藤井) 宜しくお願いします。

(拍手)



(川瀬) 次に、当塾の始まりから、学習企画と記録冊子の編集にアドバイスを  
してくださっている草津市都市計画部長の 一浦 辰己 様です。

(一浦) 一浦です。宜しくお願いします。 (拍手)

(川瀬) そして、運営の補助として、草津市都市地域戦略課副参事の

松永 智行 様が参加をしてくださいました。

(松永) 松永です。宜しくお願いします。

(拍手)



(川瀬) 今回の塾生は、当日資料に記載の方々です。 (敬称略)

(継続メンバー)

川瀬 善行 深田 義秀 木村 哲 福井 善隆 先川 且民

(新規メンバー)

田内 富夫 麻植 俊彦 井上 茂幸 山本 悦子 小野 元嗣